

安川電機(6506)



－ 参考値の業績予想では 3 割増の営業増益見通し

安川電機が 20 日に発表した 2017 年 3 月期の決算は、売上高が前年同期比 4.0%減の 3949 億円、営業利益が同 17.2%減の 304 億円と減収減益になりました。ただ、円高による目減りが売上高で 333 億円、営業利益で 102 億円にのぼることから、円高の影響を除いてみると売上高は 4.1%増収、営業利益は 10.4%増益で事業の実態は悪くなかったといえます。

安川電機では国際会計基準導入を踏まえ、今期から決算期を変更する予定です。決算期末はこれまでの 3 月 20 日から海外子会社の決算期末にあわせ 2 月末に変更されます。このため今期は変則決算となり、前期と今期予想を単純に比較することができません。そこで安川電機では今期の決算期末を従来通りと仮定した場合の業績予想も参考値として公表しています。

それによれば、決算期変更を反映した業績予想はドル円の想定レートを 110 円とし、売上高が 4140 億円、営業利益が 370 億円ですが、決算期末を従来通りと仮定した参考値は、売上高が前期比 8.9%増の 4300 億円、営業利益が同 31.5%増の 400 億円で最高益を更新する見通しとなっています。安川電機では引き続き自動車やスマホ関連向けに良好な事業環境が続くとみています。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会